



第152号

編集発行

愛知学院大学

事務局 庶務課

☎ 470-0195

愛知県日進市岩崎町

阿良池12

電話(0561)73-1111(代)

愛知学院創立一三〇周年

明日に続く

確かな歩みを

学 院 長
小 出 忠 孝

式辞(要旨)

本日学院創立一三〇周年記念式を迎える事が出来、誠に喜びに耐えません。今日迄の一三〇年間、歴代の関係各位のご協力とご支援に深甚なる敬意と謝意を捧げるものです。

「学院発展の基礎」

本日の創立記念日にあたり第一に銘記すべきことは、本学院が宗祖道元禪師の教えを建学の精神とし、明治九年創設の曹洞宗設立の私学で、中部で最も古い歴史と、伝統を持つ学園であることです。

「大学の飛躍的發展」

当時わが国経済は高度成長期にあり、大量の大学卒業生を必要とした社会の要請に

現代企業学を開設し、事業創造コース、グローバル経営コース、情報会計コースを

以上本学では時代の変化に対応し、絶えず改革の努力を

「建学の精神の堅持」

以上本学では時代の変化に対応し、絶えず改革の努力を

現代企業学を開設し、事業創造コース、グローバル経営コース、情報会計コースを

以上本学では時代の変化に対応し、絶えず改革の努力を

現代企業学を開設し、事業創造コース、グローバル経営コース、情報会計コースを

「建学の精神の堅持」

以上本学では時代の変化に対応し、絶えず改革の努力を



その結果、現在八学部十五学科、大学院八研究科、短大二学科に教職員一千名、学生一万二千名、同窓生十万人を有する中部最大級の規模と、充実した内容を誇る私立の総合大学へと飛躍的に発展してきました。

「新学科の増設」
さらにグローバル化の進展により、コミュニケーション中心の発信型英語教育の要請に応じ、本学では来春文学部にグローバル英語学科を新設します。二十一世紀社会に対応する英語プロを養成する学科で、ESP(目的・職業別英語)教育を特色とします。

「教育内容の充実」
現在大学・短大進学率が五

「教育内容の充実」
現在大学・短大進学率が五

「教育内容の充実」
現在大学・短大進学率が五

「教育内容の充実」
現在大学・短大進学率が五

10月14日 創立一三〇周年 記念式典を挙る

愛知学院創立一三〇周年記念式典が、十月十四日午前十時から日進キャンパス百周年記念講堂で挙行され、第一部の式典では小出学院長の式辞に続き、勤続表彰、クラブ表彰などが行われた。

また、平成十八年度永年勤続表彰は次の皆さん。

法 学 部

教 養 部

教 養 部

教 養 部

教 養 部

教 養 部

教 養 部

教 養 部

教 養 部

教 養 部

教 養 部

教 養 部

教 養 部

教 養 部

教 養 部

教 養 部

教 養 部

教 養 部

教 養 部

教 養 部

教 養 部

教 養 部

教 養 部

教 養 部

教 養 部

教 養 部

教 養 部

教 養 部

教 養 部

教 養 部

教 養 部

教 養 部

教 養 部

教 養 部

教 養 部

教 養 部

教 養 部

教 養 部



教 養 部 小村 賢二
教 養 部 田中 泰賢
教 養 部 清水 義和
教 養 部 荒木 章純
教 養 部 田中 貴信
教 養 部 加藤 一夫
教 養 部 子安 和弘
教 養 部 堀場 直樹
教 養 部 山口 正孝
教 養 部 植松 康

教 養 部 小村 賢二
教 養 部 田中 泰賢
教 養 部 清水 義和
教 養 部 荒木 章純
教 養 部 田中 貴信
教 養 部 加藤 一夫
教 養 部 子安 和弘
教 養 部 堀場 直樹
教 養 部 山口 正孝
教 養 部 植松 康

平成十八年物故者追悼会厳修

愛知学院創立一三〇周年記念式典に続いて第二部の物故者追悼会では、小出学院長が導師をつとめて厳かに営まれた。



愛知学院創立130周年記念 特別講演会

平成18年10月14日(土) 午後5時
名古屋観光ホテル 曙の間(2階)

●演題「これからの日本経済」

●講師 日本経済団体連合会名誉会長
トヨタ自動車株式会社取締役相談役 奥田 碩 氏

本日は、愛知学院一三〇周年の記念講演会の講師としてお招きいただき、ありがとうございます。本日は、「これからの日本経済」についてお話ししたいと思います。

五年間の小泉構造改革は、まだ十分との声もあるものの、金融再生、産業再生、バブル処理、構造改革、郵政・道路民営化などの道筋をつけてきました。現在では、民間の努力も加わって、日本経済は長い低迷から脱出し、いざ

なぎ景気を越えた経済成長を続けています。

しかし、リスク要因も少なくありません。北朝鮮のミサイル・核実験、中東問題、テロの脅威等、政治的な問題は日本にとっても大きなリスクです。さらに、世界経済を引っ張っている米国経済や中国経済の今後の状況もリスク要因であり、人口大国であるBRICsが世界経済にどのようなインパクトを与えるかという点もやはりリスク要因です。こうした多様なリスク要因を考えると、もはや日本だけのことを考えてはいられませんが、地球規模で物事を考えていかなければならない時代になっています。

約十億人の先進国経済に十億人の中国経済、十億人のインド経済などの新興国経済が加わることは、石油、鉄鋼、レアメタルなどの資源獲得の競争を激化させることにつながります。石油の需要拡大は原油の価格を暴騰させており、日中間問題でもある東シナ海でのガス田開発、ロシアのガス田開発などの動きを見ると、日本に天然資源がないことも、同時にリスク要因であることがわかります。

こうしたリスク要因は日本に対して深刻な問題を投げかけています。本日は、持続的な安定のために日本に何が必要なのか、四つのポイントから話したいと思います。

日本経済の 中長期的な課題

(1) グローバル化の推進

現在の日本のGDPは世界二位。二〇四〇年には中国が二位、インドが三位、日本は四位になると予想されています。このような状況では、人口の多いBRICsやASEANとの協力が不可欠です。企業レベルではグローバル化が進んでいますが、さらに、海外をサブライチエーションに組み込んで、世界最適生産を追求することが求められています。国としては、WTOやEPAを通じて努力が必要です。とりわけ、この提案と推進で日本のリーダーシップが重要となります。そのためには、日本国内の構造改革を進めると同時に、日中・日韓の関係改善を進めることも不可欠です。

グローバル化では資源保有国との関係を良くすることが大切ですが、例えば、石油では中近東諸国との関係が大切ですが、併せてそれらへの依存度を下げるロシアとの関係強化なども重要となります。

日本には技術力があります。これが資源に変わる外交力にもなると考えられます。

(2) 科学技術創造立国への 取り組み

戦後の日本経済の成功は欧米の技術を取り入れ、低コスト・高品質の大量生産を実現できたことにあります。現在ではこれを中国などの新興国が行っています。日本には従来の方法を超えて、自らイノベーションを起こすことが求められています。さらに、新興国への技術移転が進み、従来の日本以上の速度で追いついてきています。新たな市場を求めただけでなく、継続的なイノベーションを実施していくことが大切です。

また、環境問題、エネルギー問題、資源問題が制約要因となっています。人口大国での成長は、エネルギー消費を拡大させ、それが環境を悪化させるという悪循環が進行しています。例えば、中国やインドの自動車保有率が先進国並みになると、環境負荷が過

大になりすぎることは明らかです。継続的な成長には環境技術で貢献していくことも必要となります。こうした貢献は、社会的責任として、そして地球的な責任として実施していかなければなりません。

エネルギーの枯渇やレアメタルの供給不足などは、昔から言われてきたことではありませんが、近い将来、価格の急騰などで現実化するおそれがあります。省エネ・省資源で延命することも大切ですが、併せて、新しい技術で代替物を開発する材料改革も不可欠となっています。

このような新たなイノベーションのために、そして制約の打破のために科学技術創造立国が大切となるのです。

人口を考えると、中国やインドには日本の十倍の技術者がいると考えられます。さらに、日本の理系大学生比率は中国やインドよりも低くなっており、量では負けることは間違いありません。技術者の質的向上、日本人の科学的思考力を高める教育が大切です。

以前、日本人の基礎学力は世界トップクラスでした。最近ではかなりの低下が認められます。文科省もゆとり教育を見直すとして今こそ、教育を直そうとしなければなりません。基礎学力を伸ばし、科学的思考力を身につけさせ、独創性をのばすことが重要です。独創性をのばすために多様性を認め、個性を尊重した教育が必要でしょう。

北欧の教育システムが参考になります。一貫教育で、一方通行ではない対話中心の教育です。日本では未だに一つの答えを求めさせようとしませんが、答えは一つではなく多様であることを教えていかなければならないのです。

また、科学技術創造立国では外国人の力を借りることも不可欠です。しかし、日本では外国人研究者を上手に受け入れることができていません。給料が安く、住宅が狭く、インターナショナルスクールも不便だということが、優秀な外国人人材の招聘は困難です。日本で働きたいという環境を

愛知学院 創立130周年記念特別講演会



(3) 観光立国への取り組み

さて、世界の観光地を見てみると、みな魅力的な国です。その国の、経済、技術、文化、生活の総合的な豊かさの現れです。ところが、日本の観光の国際競争力は低いのです。昨年、千七百四十万人が海外へ出かけましたが、六百七十万人しか外国人が訪れていません。フランスを訪れた人は七千五百万人、スペインは五千三百万人、アメリカは四千六百万人で、日本とは桁違いです。

日本の観光資源は遜色のないものです。四季の移ろい、数多くの景勝地、歴史的な遺産、伝統工芸、など十分なものがあります。しかし、観光立国にはほど遠い状態です。観光立国のためには、そこで生活している人々がその地域を愛し、自分たちの仕事を愛し、心豊かであることが大切になります。それがその地域のホスピタリティに繋がります。

さらに、町並みの美しさも大切です。ヨーロッパ諸国を訪ねると、町並みに調和・統一感があります。しかし、日本の町並みの多くはお粗末としか言えません。けばけばしい建物や並び、統一感がありません。規制を撤廃する規制改革は重要ですが、町並みや景観では規制が必要だと思えます。電線の中地化など、住民一体で進める必要があります。

(4) 人口減少社会への対応

日本の人口は二〇〇五年から減少し始めています。出生率は低く、二〇五〇年には人口が九千万人になり、高齢者が多く若者が少ない人口構成になります。労働力人口の減少、貯蓄率の低下など、経済成長への悪影響は避けられず、経済競争力を低下させることとなります。人口は競争力の基礎でもあるのです。しかし、日本人の人口減少への危機感が低いことは憂慮すべきです。あるべき人口とその構成について国としての議論が必要だと思います。

さて、少子高齢化は労働力の低下を招きます。政府は女性の活用、高齢者の活用、IT化の推進を対策としていますが、一時しのぎでしかありません。二〇一〇年以降労働力人口は百万人単位で減少し始めます。その上、ミスマッチも避けられません。労働力人口減少の影響は避けようがないのです。

出生率低下は先進国共通の問題であり、人口を増加させる水準まで出生率を戻すことは不可能でしょう。国内対応だけでなく、外国人の助けがこの点でも、外国人の助けが重要な点になります。しかし、日本政府は外国人の受け入れに大変慎重です。外国人の受け入れは、多様性を取り込み、イノベーションを高める意味でも日本にとって有効な方法です。

先頃、フィリピン看護師を受け入れる決定がなされましたが、これは画期的なことでした。ハードルは高いものの、外国人を受け入れる議論を高めることが必要になってきました。その際、安価な労働力としてではなく、日本人と同じ立場で働いてもらうことが大切です。もちろん、無制限な受け入れはいけません。その上に、外国人の受け入れに伴う社会的コストを誰が負担するかという議論も必要です。外国人に対する狭量な偏見を無くすことも求められます。

日本の発展を支える 「心のあり方」

①多様性を認める心
互いが違うことを認め、尊重し合い、多様性を認めることが活力を引き出すことにつながります。高度成長の時代には、均質性や画一性が強みになりました。現在は中国やインドがこの段階にきています。それに対する多様性の国徴はシリコンバレーです。国籍・宗教・年齢など多様な人々の交流がユニークなアイデアを生み出し、創造的活力を生み出しています。

②武士道精神
倫理的な精神として、日本には武士道精神がありました。和を尊ぶことは大切ですが、和のために調整に時間がかかりすぎれば、大きな問題になってしまいます。和と共に個性についての心、武士道精神が必要で、この武士道精神を取り戻すには個の確立を進めると共に共感と信頼という新たな関係性の構築も必要となります。武士道の基本は義です。正々堂々とし、正義を追求し、側隠の情を持つことです。まさに今、金儲けに走り続ける町人国家に別れを告げるときなのだと思います。物と心のバランスで物に偏りすぎている今、心の教育の立て直しが求められています。深い教養と徳を備えた人を育てるために、地域で、学校で倫理や道徳を教えることも大切でしょう。

③死生観の喪失
さて、武士道の一面は、いかに死ぬかの発見でもありました。正義を貫き、いかに生き、いかに死ぬかを考える、ということでした。近年、子供達が死の意味を捉えることが困難になってきていると言われます。死んだ人が生き返ると考えている子供も多くと報告されています。核家族化で死に出会わなくなったことやTVゲームの影響で社会において生命のリアリティを喪失しているようなのです。こうした状況では自分の生すらも実感できなくなっています。日常の生活を通じて、生きることを通じて、生の心を育ませることが大切です。

④嫉妬の経済から賞賛の経済へ
勝組、負け組という言い方があります。成功者の足を引っ張る、出る杭が打たれるという風潮を表している言い方です。マスコミもこの風潮を助長しているように思えます。フリーターやニートの増加、他方で華やかな若い実業家、こうした対比で嫉妬を表現しているようにも思えます。こうした嫉妬によって構造改



愛知学院創立一三〇周年記念特別講演会・祝賀会が、名古屋観光ホテル曙の間において、十月十四日実施された。小出忠孝学長長の挨拶のあと日本経団連名誉会長・トヨタ自動車(株)取締役相談役奥田碩氏による「これからの日本経済」と題して講演が行われた。終了後、法学部四年伊藤悦子から花束の贈呈があり、入試センター入試広報課目次和子より大学・高校・中学案内と三学科(グローバル英語学科・ビジネス情報学科・現代企業学科)の紹介があった。



特別講演会終了後、那古の間において祝賀会が盛大に行われた。小出忠孝学長長の挨拶の後、来賓として愛知県知事神田真秋氏、県私学連連合会会長・名古屋電気学園・愛工大理事長・総長後藤淳氏より祝辞があり、県公立高等学校校長会会長・明和高校校長佐藤順彦氏による乾杯の挨拶の後、祝宴に移った。学内外関係者約七五〇人の出席により講演会ならびに祝賀会は、まれに見る大盛況であった。司会は、東海ラジオ谷川明美アナが努め、最後に加藤勇夫一三〇周年記念実行委員長の中締で無事終了した。



130

AICHI GAKUIN

創立三〇周年記念 特別講演会・祝賀会が 盛大に開かれる

愛知学院 創立130周年記念祝賀会



愛知学院 創立130周年記念 Aichi Gakuin The 130th Anniversary in LACHIC

愛知学院創立130周年記念行事・三越ラシックにおけるイベント及び開幕セレモニーが10月21日(土)三越南館ラシック1階イベントスペース「ラシック パサージュ」において盛大に行われた。

小出忠孝学長・加藤勇夫実行委員長・品田ラシック店長のあいさつの後、本学和太鼓クラブによる和太鼓演奏が行われた。

なお、10月21日から10月29日までのステージプログラム・展示プログラムが下記の通り実施された。



■ステージプログラム

DAY	1st. 12:00~	2nd. 15:00~	3rd. 15:00~
10/21 sat	オープニングセレモニー 学長テープカット 和太鼓演奏 愛知学院大学和太鼓クラブ AGU丸座	JAZZ STAGE 愛知学院大学 ライトパープルジャズテット	Peach Jam 愛知学院大学/OB
10/22 sun	アカペラSTAGE 愛知高校 グリークラブ	マンドリン演奏 愛知学院大学 マンドリンクラブ	チアリーディング 愛知学院大学 チアリーダー部
10/28 sat	吹奏楽演奏 愛知中学・愛知高校 吹奏楽団	アカペラSTAGE 愛知学院大学 グリークラブ	JAZZ STAGE 愛知学院大学 Singing All Stars
10/29 sun	和太鼓/踊り 愛知中学校	吹奏楽演奏 愛知学院大学 吹奏楽団 踊り 愛知学院大学 よさこい祭り研究会	JAZZ STAGE 愛知学院大学 ジャズレインボー

■展示プログラム

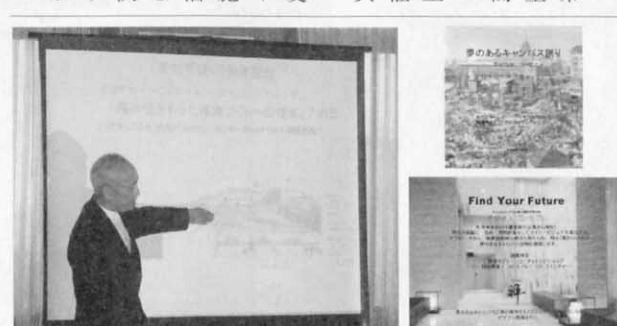
	写真部作品展示	書道部作品展示	陶芸部作品展示	美術部作品展示
10/23 mon 10/27 fri	キャンパスの情景を学生それぞれの目線から撮影した写真の数々を展示。様々な愛知学院の情景に出会うことができます。	愛知学院を一文の「書」で表現。さらに、部員それぞれの思いを込めた作品を展示。	個性あふれる陶芸部の130周年記念作品。愛知学院が育む豊かな感性を感じ取ることができます。	130周年に寄せる想いを描いた美術部の作品展示。それぞれの心に映る情景を感じ取ることができます。

平成十八年九月二十日(水)十六時より日進本部棟三階第二会議室において「潤いの空間の創出」をテーマに日本商業施設学会会員によるプレゼンテーションが愛知学院創立一三〇周年実行委員会の主催により行われ、多数の教職員が参加した。

プレゼンテーションでは愛知学院大学が、さまざまなイベントを通して地域社会に施設や空間を提供し、潤いと活力を与えるには、構内の美しい景観、学生が過ごし易い快適な環境や美しい空間づくりをしていくことが重要であるとの提案がなされた。

愛知学院大学日進キャンパス 「潤いの空間の創出」の プレゼンテーション

夢のあるキャンパス作りを目指して



創立一三〇周年記念行事として 第三回英語と日本語による スピーチの祭典開催

二〇〇六年十一月三日 日進キャンパス学院会館ホールにおいて第三回英語と日本語によるスピーチの祭典が開催された。「愛・地球・平和」のテーマのもとに日本人学生は英語で、留学生は日本語で総勢43名が出場した。それぞれ英語部門(高校の部・大学の部)、日本語部門で熱く持論を展開した。当日は文化の日と重なり、多くの観客が熱心にスピーチに聴き入っていた。

優秀者には、学長賞、中日新聞社賞、国際交流センター所長賞等が授与された。主催は愛知学院大学国際交流センター、後援が愛知県教育委員



愛知学院創立130周年記念

愛知学院大学図書館情報センター 特別展のご案内

内容:「愛知学院大学図書館情報センター所蔵の稀覯本」

場所:図書館情報センター1階展示室

期間:平成18年10月16日(月)~平成18年12月15日(金)

ただし、土曜日・日曜日・祝日を除く。

時間:午前9時~午後5時

※学外者の方も入館できます。ただし、中学生以下の方は保護者同伴をお願いします。(入場無料)
なお、館内施設展示のため、本学学生・保護者の方および学外者の方は、入館の際にご氏名を記載していただきますのでご了承ください。

愛知学院創立130周年記念の特別展として、本学図書館情報センター所蔵貴重資料の中から、さらに厳選した珍しい資料を「愛知学院大学図書館情報センター所蔵の稀覯本」と題して、今回皆様方に二ヶ月間公開いたします。

ピオンド「ローマ千年史」など、世界でも「インクynaブラ」と言われている西欧初期の活字印刷物(1454年頃から1500年頃までのもの)も展示しますので、多数の学生・教職員および本学学生保護者の方に来館していただきたく存じます。一般市民の方でも興味のある方も、是非この機会にご来館ください。



展示資料

百万塔陀羅尼(無垢浄光経 相輪陀羅尼) 1基1葉	764年	法隆寺旧蔵
フスト、シェファアの「48行聖書」 1葉	1462年	マインツ刊
ピオンド「ローマ千年史」 初版	1483年	ベニス刊
グローステスト「アリストテレス自然学註解」 初版	1494年	ベニス刊
ビドロー「人体解剖学」 初版	1685年	アムステルダム刊
ケンペル「日本誌」 初版	1727年	ロンドン刊
ケンペル「日本誌」 フランス語版初版	1729年	ラ・エイ・デカルト刊
「ブリタニカ百科事典」 初版	1768年	エジンバラ刊
夏目漱石の書簡2通および漱石の名刺1枚	明治時代	

愛知学院大学図書館情報センター

田畑治 心身科学部長 日本心理臨床学会学会賞を受賞



田畑 治
(心身科学部心理学科)

この度、八月四日付で日本心理臨床学会理事長・鐘(た)たら 幹八郎氏から、平成十八年度における本学会賞を贈呈に際し、「学会賞の贈呈に関する内規」第二条第一号により、私に標記の学会賞を贈ることが内定したとの通知を受けました。表彰理由は「カウンセリングやエンカウンター・グループの効果研究に関する人間性心理学の功績、および臨床専門職者の養成プログラム開発に関する功績」であります。



その後、平成十八年九月十五日開催の理事会で報告され、承認されました。そして表彰式は九月十八日の日本心理臨床学会第二十五回大会総会会場(関西大学)にて挙行されました。

今回の受賞は、私にとって全く思いがけない光栄なことであると共に、本学ならびにわが国の臨床心理学の発展に向けて、さらに一層の努力をいたす所存であることをここに謹んでご報告いたします。

加藤 勇夫 教授 日本商業施設学会賞受賞

商学部加藤勇夫教授が、平成十八年9月に開催された日本商業施設学会第5回全国大会において学会賞を受賞し、総会で十合咲会長から授与された。対象著作は、商学部寶多國弘教授、尾崎眞教授との共編著『現代のマーケティング論』ナカニシヤ出版、平成十八年8月刊、246ページで、優秀著作賞として高く評価された。教授のますますの研鑽を祈る。

秋季 学位記 授与式

平成十八年度秋季学位記授与式が九月三十日進キャンパス大会議室で行われた。対象となったのは学部生が七十三名、大学院博士課程前期修了者四名。



小出忠孝学長の式辞、加藤教務部長、橋本文研科長、梅川法学部長の祝辞に引き続き学位記授与式終了後、各室において学部長、研究科長からそれぞれ学位記が手渡された。



5月25日(木)

日本歯科保存会奨励賞 受賞される

石塚恭子

(歯学部非常勤助手)
(歯科保存学第2講座)



受賞論文

「Inhibitory effect of CGRP on osteoclast formation by mouse bone marrow cells treated with isoproterenol」
Neuroscience Letters.379.47-51,2005

論文内容

「近年、骨芽細胞および破骨細胞の形成、分化、増殖および機能の調節機構が解明されてきた。また、骨代謝が、成長因子、ホルモンおよびサイトカインなどにより制御されることはよく知られている。我々は、骨芽細胞および破骨細胞に神経伝達物質の受容体が存在し、アドレナリン作動薬がRANKL-RANK systemを介して、破骨細胞の形成を促進し、骨代謝に影響を及ぼすことを見出している。

骨吸収に関与すると思われる交感神経および感覚神経との生理学的相互作用をより深く理解するために、今回、破骨細胞の形成、分化、増殖を抑制すると言われている感覚神経由来のCalcitonin Gene-Related Peptide (CGRP) がイソプレナリン誘導の破骨細胞形成に及ぼす効果を検討した。その結果、CGRPが骨芽細胞あるいはストローマ細胞におけるRANKLおよびOPGの産生に影響することなく、RANKLの前駆破骨細胞への作用を阻害して、破骨細胞形成を抑制していることを証明した。

本研究は、根尖病変における骨吸収の成立機序を解明する際の重要な新知見である。この新知見を基に、これらの生理的意義および作用機構をさらに解析することにより、骨吸収を伴う疾患に対する新たな治療法の確立へと繋がるものとして期待できる。」

本学会奨励賞を受賞するにあたり、終始御懇篤な御指導と御校閲を賜りました歯科保存学第2講座、恩師中村洋教授に深く感謝の意を表すと共に、日頃から特別な御指導と御校閲を賜りました本歯学部薬理学講座、恩師戸部彰史教授に深謝いたします。

古川基金は平成三年に古川善次郎氏(元大学後援会長)の寄付金を基に創設され、独創的で、学術的に幅広く社会に貢献することが期待される研究に対し助成されるもので、本年度の交付者は次の四名に決定した。研究費三十万円。交付者と研究課題は次のとおり。

◆法学部

中谷毅 助教授

「ドイツ外交安全保障政策における非軍事的貢献の現状とその課題」

◆総合政策学部

山旗弘星 助教授

「A comparative Insight on Sustainable Development, Human Security and Freedom: The Current Stage and Process Assessment of Developing Countries」

◆歯学部解剖学第1講座

水谷誠 講師

「ラット外側翼突筋における上頭と下頭の組織化学的研究」

◆歯学部歯科補綴学第2講座

竹内一夫 講師

「コンピュータ適応型・咀嚼能力テストのための画像データベースの構築」

交付者と研究課題

平成十八年度 古川学術研究振興基金研究費 四名に交付

YPPCBL (インドネシア口唇口蓋裂患者協会) 口唇口蓋裂センターが建設される

愛知学院大学の提携校であるインドネシア共和国バンドゥン市バジャラン大学歯学部内に、本学に事務局のある国連認定法人(ロスター)日本口唇口蓋裂協会(中部電力株式会社代表取締役会長川口文夫理事長)の永年の援助が実り、日本政府の資金により「YPPCBL(インドネシア口唇口蓋裂患者協会)口唇口蓋裂センター」が建設されました。



同センターは、手術台2ベッドの他に、歯科治療室、言語治療室、カウンセリング室などを備え、同時に新築された、バジャラン大学歯学部附属病院と連携して使用されます。同手術室では口唇口蓋裂以外の口腔周囲領域病変の患者の手術も行われ、術後に隣接した新病院の病棟に移動できるようにになっており、設計段階から二つの建物が相互補完できるようにされています。

オープンングセレモニーにはインドネシア政府関係者および知事、日本政府代表などが出席し、本学からは小出忠孝学長の代理として亀山洋一郎歯学部部長、夏目長門口唇口蓋裂センター部門長が列席しました。

バジャラン大学からは、愛知学院大学ならびに日本口唇口蓋裂協会に対し、十年に亘る長期の継続的な援助に対して謝辞を頂きました。

バジャラン大学は、インドネシアを代表する有名大学で本学とは学術交流協定が結ばれています。また、同大学長からは、歯学部間での更なる交流についての要望がありました。

専門は英文学で、特にロマン派の詩人コウルリッジに関して研究業績を残された。先生は文学と哲学を好まれ、その点で、難解なコウルリッジは先生の適切な研究対象であった。平成六年から二年間語学研究所所長、また外国語視覚教育センターの設立時には、実務委員として機種選定などに奔走された。

実に四十年の永きに亘り、情熱をもって教育・研究に従事されたとともに、学生を積極的に自宅に招き、学生の指導に努められた。ここに謹んで先生のご冥福をお祈り致します。



六田正孝教授ご逝去

六田正孝教授が、去る十月二日、敗血症のためご逝去された。享年六十九歳。

先生は石川県出身で、同志社大学大学院文学研究科修士課程を修了後、短期大学を経て昭和四十二年本学教養部に着任された。

勝ち取れ08年就職戦線!

08年の就職戦線が、いよいよ本番を迎えます。

企業の新卒採用は四年前をボトムとして、ここ三年間で急速に回復しています。二〇〇六年採用における企業の採用は、ほぼ一九九一年のバブル期に匹敵するものとなりました。民間企業の採用予定数は80万人を超えていると推測され、これを学生の就職希望者数43万人で割ると1.86以上となります。「新卒回帰」の流れはほぼ定着し、新卒採用市場は再び過熱化の様相を見せています。採用増の理由を見ると、文系においては「年齢等人員構成の適正化」「経営状態の好転・既存事業の拡大」「販売・営業部門の強化」退職者の増加による新卒採用拡大が考えられ、団塊世代の大量退職「二〇〇七年問題」の影響も同様と思われます。こうした状況下による、企業の採用活動時期の早期化が考えられますので大手企業では、年内若しくは年明け早々からリクルーターやOB・OGなど若手社員による接触が、中堅・中小では採用担当者自身によるアプローチが今年以上に拡大が予想されています。企業の選考開始は最も早くなる場合、文系は三月早々に開始される可能性があり遅くとも四月を待たずに多くの企業が選考を開始するでしょう。したがって最初の内定出しの山は四月中旬まで早まるかもしれないと。三年生はこの流れに乗り遅れないように準備が必要です。そこで就職活動の鍵を握る面接試験での成功例と採用担当者から見たチェックポイントをあげてみます。

★『こうして先輩たちは内定を獲得した』先輩たちからの声

◆面接で聞かれた質問を参考に自己分析!

面接で聞かれた質問を必ず振り返り、なぜうまく答えられなかったのかを反省していた。本来の自分とのズレが見えてくるなど、自己分析の参考になった。

◆世代が違う人たちに 私について聞きまくった!

親や先輩、友達、バイトの上司など世代が違う人に「私ってどんな人?」と聞きまくった。見る人の立場が変われば自分の印象が違ってくるのがわかり、自己分析・自己PRの役に立った。

◆合同会社説明会に参加するうちに基準が明確に!

合同説明会に参加し、興味があってもいろんな企業の話聞くことで、徐々に自分の会社選びの基準が見えた。それによって「この業界しかない」という思い込みから解放された。

◆会社説明会での雰囲気大切に選んだ!

最初は業界を絞り込んで活動。しかしなかなかピンとこなかったため、途中から業界で選ぶのをやめ、説明会にできるだけたくさん参加し企業理念に共感できる、雰囲気になじめるという印象を大事にしてみた。この選び方は私に合っていて、納得のいく就職ができたと思う。

◆先輩訪問でやりたいことができるか聞いた!

先輩訪問はやっぱりすべき。そこで「こんな仕事がしたい」と具体的に述べると「それはうちの部署でもできるかも」とか「うちの会社はちょっと違う」と、明確な回答が得られた。

◆「簡単に」と言われたときには「簡単に」!

「簡単に説明してください」と言われたときには、要旨のみを説明。そうすると面接担当者が聞きたいことを聞いてくれるので、それから詳しく説明していた。こうすると話が長くなりないう、会話がスムーズに進む。

◆ゆっくり話し、即答を避けて緊張に対抗!

緊張するどうしても早く口になり、気持ちまで焦ってくる。普段以上にゆっくり話すように心がけた。パニックに陥らないように質問されてもすぐに返答をせず、ある程度頭のなかを整理してから答えると、落ち着いて話せる。

◆丸暗記でパニック……要旨のみを覚えた!

面接に自己PRを丸暗記して臨み、いざというときに「頭が真っ白」になりパニック。それ以降はキーワードのみを覚え、それを自分の言葉で肉付けするようにした。

★『面接のチェックポイント』

採用担当者側の視点

◆大学入試当時から成長したことを挙げてみる!

「自分が頑張ったことがピンとこない」というなら、「大学入学当時と比べて自分が成長したことは何か」をポイントに自己分析するといいい。成長には必ず理由がある。何をきっかけに、何を頑張ったことで、また、何に出会ったことで成長できたのかを具体的に挙げる。そうすることで、頑張れること、頑張れるとき、自分の価値観など、自己PRに必要なポイントが見える。

◆面接を「自己分析の場」ととらえしっかり振り返る!

面接では、いろんな角度から質問を投げかけられる。突っ込んだ質問に口ごもったことも少なくないだろう。そんなとき、ふと出た言葉から自分の新たな面を発見したり、なぜ口ごもったのかを考え直し、本来とは違う自分を演じていたことに気がつく場合がある。面接は「自己分析の場」ともいえるのだ。就職活動後半になって、「就職活動で成長したんだな」と思える学生に出会ふと、その人の「伸びしろ」の大きさを感ずることもあります。

◆場をみてコミュニケーションができるかどうか重要!

「仕事はチームワーク」この人が入社したら、どんな仕事の進め方をするだろうという視点で学生を見ると、一人で話して目立とうとする人は敬遠するケースもあります。特に集団面接では、「場の雰囲気を読めるか」も大事だ。人の話を耳を傾け、自分が話すべきときに話す。必要以上にそればかり考えることはないが、面接という場でも、日常のなかで必要とされる気遣いを実践すればいいのだ。

◆緊張を和らげるには、「慣れ」と「練習」に限る!

ある程度の緊張は容認する企業が多い。「大切なのは、私たちに伝えたいメッセージをしっかり持っているかどうか」で、流暢に語ることは必要から。しかしあまりに緊張しすぎて言いたいことを言えないのは問題。せっかく持っているメッセージが相手に伝わらない。緊張しがちなならば、キャリアセンターや友達に面接の練習を手伝ってもらおう。また、あれもこれも話そうとすると支離滅裂になり、さらなる緊張を招く。相手の質問を聞き、それに対して簡潔に答える練習が大事だ。

◆一人で長々と話し続けたい。面接はキャッチボールだ!

アピールしたいと思う気持ちが先に立つと、話が長くなりがち。応募者が多く、一人にかけられる面接時間は決まっています。「ここでアピールしなきゃ」という思い込みで長々と話し続けると、聞きたい話は聞けず、その人本来の強みが見えずに終わってしまうことがよくあります。話は簡潔に、もっと聞きたいと思えば、面接担当者は質問してくる。面接とは、相手のいるキャッチボールなのだ。

最後に、企業は学生に対し「一緒に働きたい人」であるかを見極めるため、明るさ、素直さ、マナーのよさ等を含めたコミュニケーション能力を一番重要視しているように感じます。これらの事は、それぞれの家庭での普段からの教育や支援も大切であることをご理解いただき、ご子女と接していただきますようお願いいたします。

また、キャリアセンターは学生の皆さんの就職活動や進路選択の支援を行うために設置された部署です。豊かなキャリアを築くお手伝いを致します。どんな小さなことでも構いません。進路の悩みはここで解決してください。お待ちしております。

キャリアセンター 次長 江崎 修



日本歯科技工学会『最優秀論文賞』受賞

愛知学院大学歯科技工専門学校では、水谷和裕講師を筆頭著者とする共著論文が高く評価されて日本歯科技工学会平成18年度最優秀論文賞に選ばれ、9月19日に広島国際会議場で行われた学会総会で表彰された。

本論文賞は日本歯科技工学会雑誌に当該年度に投稿された約50編の論文から選考されるもので、毎年、最優秀論文賞1編、優秀論文賞2編が表彰されている。

なお本校では過去に最優秀論文賞に3編、優秀論文賞に2編が選ばれ、輝かしい成果を収めている。



最優秀論文賞

- 平成18年 水谷和裕講師他6名
『急速加熱型リン酸塩系埋没材の埋没条件が陶材焼付焼造冠の適合精度に及ぼす影響について 第2報』
- 平成16年 尾崎双太郎講師他3名
『各種模型分割用機器が歯型の分割に及ぼす影響について』
- 平成11年 大池洋治講師他3名
『ノコ刃の形態と硬さが歯型の分割に及ぼす影響について』

優秀論文賞

- 平成12年 尾関博司講師他3名
『ノコ刃の形態と硬さが歯型の分割に及ぼす影響について 第2報』
- 昭和63年 尾崎双太郎講師他4名
『金属線の埋入がレジン床義歯の適合精度に及ぼす影響について』

森田一三 歯学部講師(口腔衛生学講座)

日本公衆衛生学会奨励賞受賞



今回は、森田講師を含め東京都老人総合研究所研究部長および広島県福山地域保健所長の二名の医師、富山大学地域・老人看護学の一名の保健師四名が受賞した。総会では受賞者講演も行われた。森田講師の受賞題目は「8020疫学的調査研究」と歯の喪失予防介入研究で、本学口腔衛生学講座(主任・中垣晴男教授)が永年行ってきた「8020疫学的調査研究」と飛鳥村始め愛知県で歯の健康づくり活動が評価されたものである。受賞講演の内容は、①8020達成者の特徴、②8020達成者が人々にもたらすもの、③8020を達成するための方法、④歯の健康づくり得点の有効性、および⑤歯の健康づくりのこれから、であった。

日本公衆衛生学会は、医師、歯科医師、薬剤師、保健師、看護師、看護教師はじめ各職種および行政の大学に勤務する医療保健関係者約八千五百名より成り、日本の公衆衛生の向上に大きな役割を果たしてきている権威ある学会である。

現在、森田一三講師は愛知学院大学在外研究として、本年四月一日より来年三月末までロンドンのユニバーシティ・カレッジ・ロンドン(UCL)の疫学公衆衛生学講座で、Sheham教授の下で8020疫学的根拠および健康づくりの理論について引き続き研究している。

ラオス国立大学と 学術交流協定を締結

ラオス国立大学と愛知学院との学術交流及び協力に関する協定調印式が十月十六日(月)楠元本部大会議室においておこなわれた。夏目長門歯学部特殊診療科教授の経過報告のあと、日本側小出忠孝愛知学院大学学長とラオス側prof.Soukongseng SAIGNA-LEUTH (スコンセン) サイニャルウアート(ラオス国立大学学長とのあいだで学術交流および協力に関する覚書が正式に取り交わされた。

小出忠孝愛知学院大学学長・Mrs.Sengdane LACHANTH-ABOUN (センドウアン) ラーチャントブーン(ラオス文部副大臣Stof.Soukongseng SAIGNALEUTH (スコンセン) サイニャルウアート) ラオス国立大学学長・引田弘道国際研究センター所長・文学



外交官

中東アフリカ局
調査官

を招いて 外交講座を開催

愛知学院大学日進キャンパス12号館1階G105教室において十月十六日(月)外務省外交講座が行われた。講師は外務省中東アフリカ局中東第2課地域調査官(元在ロサンゼルス総領事館領事(元在ヒューストン総領事館首席領事)の石田調夫氏。演題は「中東パレスチナ情勢」を考えるをテーマに①中東という世界②国際政治の中心③米国ブッシュ政権の中東政策④中東の台風の眼、イラン系シリア派勢力の拡大⑤パレスチナ問題の歴史的背景⑥ファタハとハマスの二重権力⑦和平とプロセスの展望について講演



第一回寄附講座講演会開催

平成18年9月9日土曜日に、愛知学院大学寄附講座一安部浩平初代日本口唇口蓋裂協会理事長記念寄附講座一口腔先天異常遺伝学・言語学講座の第一回講演会が愛知学院大学楠元学舎にて開催されました。講師には東京医科学科分野大学院医歯学総合研究科顎顔面外科科学分野天笠光雄教授(日本口腔科学会 理事長)をお迎えし、「口唇口蓋裂患者の顎形態と言語機能の問題点と治療法について」講演をされました。会場には、歯科医師、看護士、言語聴覚士、学生が参加し会は盛況に終わりました。

今後も寄附講座では充足させた内容の講演会を開催し、独創的で先鋭的な講座を展開していく予定です。今後の講演会等の案内をご希望の方は、下記協会事務局までご連絡下さい。



特定非営利活動法人 日本口唇口蓋裂協会
電話・FAX (052) 757-4312
E-mail:jcpf@naa.att.ne.jp

日進フォーラム(公開討議)で 基調講演を行なう。 草間秀三郎教授(総合政策学部)

二〇〇六年十月七日(土)日進市民会館小ホールにおいて「二十世紀における市民国際交流を語る」日進市海外姉妹都市提携に向けて」をテーマに公開討議が行なわれた。



当日、佐藤彰日進市長の来賓挨拶の後、本学草間秀三郎総合政策学部教授が「市民国際交流の新たな可能性」をテーマに基調講演を行なった。講演の後、パネルディスカッションも行なわれ日進市民・NAA会員等約百名の市民が参加して熱心な討論がかわされた。

科学研究費 説明会 実施

平成十八年十月六日(金)日進学舎6315教室ならび

に楠元学舎薬学部棟206大講義室において、第二回科学研究費説明会が実施された。昨今、一部の研究者による科学研究費補助金の不正使用がメディアで取り上げられていることや科学研究費補助金が、国民の貴重な税金を財源とし、公募から使用に至るまで、研究機関の研究者は使途を明確

かつ有効に使用し、事務局はそれを管理するよう、心がけて行く必要があることから学内で毎年実施している。説明会では学内事務担当者より科研費電子申請システムの入力方法、計画調書の作成における注意事項についてパワーポイントによる説明があった。今年度は会計検査院の実地検

査において、複数の研究機関の不適正な会計処理の事例、文部科学省より全研究機関に対して、科学研究費補助金の適正な執行管理の徹底について通知がなされたことなどが報告された。また、速やかに事務処理体制を見直し、適正な経理事務を徹底するよう準備を進めているとの報告もなされた。



総合テーマ『異文化と日本』

- 10月7日(土) アメリカの行きすぎを見て、日本の良さを再発見する
—幽霊の正体見たり、枯れ尾花—
木村 英恵(文学部教授)
- 10月21日(土) 朝鮮実学者の日本観
—夷狄視から華夷観の克服へ—
西川 孝雄(文学部教授)
- 10月28日(土) ハーモニカで振り返る愛知万博
—NZマオリを中心に—
小池 秀夫(商学部教授)
- 11月11日(土) 日本と外国・外国人
—心の壁と法の壁の開放—
芹田 健太郎(法務研究科教授)
- 11月18日(土) 在日外国人の生活と教育
—日系ブラジル人を中心に—
新海 英行(総合政策学部教授)
- 11月25日(土) 歯にまつわる文化
—風習からの比較—
大野 紀和(歯学部教授)



平成18年度秋季公開講座を10月7日にスタートした。総合テーマは『異文化と日本』。6名の講師が歴史や法律、教育などの切り口で講義する。申し込みをした390名が受講することになった。各個別テーマと講師は左記の通り。

AEDの配置場所(日進学舎)について

今年度の予算で購入しましたAED(自動体外式除細動器)4台が、下記の場所に配置されましたので、ご連絡致します。

- 1)2号館 講師控室前ロビー(白い専用ボックス内)
- 2)6号館 講師控室前廊下(白い専用ボックス内)
- 3)スポーツセンター事務所前(壁掛け)
- 4)正門守衛室内(壁掛け)

※1)~4) 24時間対応



道元禪師のことば
たとひ七歳の女流なりとも……

「正法眼蔵」禮拜得髓の巻
な精神が伝わってきます。道取せんは、たとひ七歳の女流なりとも、すなわち四衆の導師なり、衆生の慈父なり。
「正法眼蔵」禮拜得髓の巻「古仏の心術」として示されたこの言葉は、仏道を歩む人々が習うべき心得ですが、道元の分け隔てのない謙虚な精神が伝わってきます。知らぬ間に相手を外見だけで判断していたり、何かと色眼鏡をかけたまま世間を見たりする私達ですが、この言葉はそうした偏見に警鐘を鳴らすと同時に、現代日本の社会倫理や価値観を再考する上でも多くの示唆を与えてくれる「廻天の力」を秘めています。平等で清潔な社会秩序のもとで努力した者が報われる社会を再構築し、多様性を受け入れることで社会の創造性を取り戻すために、この言句に籠められた道元の真直ぐな心根は活かされなければなりません。
教養部 岡島秀隆

2年連続 明治神宮野球大会出場決定 硬式野球部

硬式野球部が大学野球秋季リーグ線で愛大との2回戦を行い12-0で愛大を下し36度目の優勝を飾った。

今年より神宮大会に出るために、愛知、北陸、東海各連盟の1、2位計6校によるトーナメントが新設され、中京大に10-0で圧勝して2年連続12度目の明治神宮野球大会出場を決めた。



打線は近年になくしっかりしている。日置、本多、宮田の中軸が固定、投手力におんぶに抱っここのチームではなくなかった。今年はとくに北海道サマーキャンプをやめ、かわりに福井県の永平寺で座禅を行い、そのききめが勝負強くなりリーグ戦ではバックが調子落ちの主戦投手を守り通した。明治神宮野球大会での優勝がおいに期待できる。



「パワーリフティング」 世界ジュニア大会で銅メダル！



産業情報学科1年
西田彩子

今年商学部に入學した西田彩子さんは、小学校からアルペンスキーを始め、高校時代に体力強化のためウェイトトレーニングを開始。その中でパワーリフティングという競技と出会う。パワーリフティングはベンチプレス（胸と腕の筋力）、スクワット（足腰の筋力）、デッドリフト（背筋力）の三種があり、種目別およびトータルの重量を競う。

西田さんは本学入学後ウェイトトレーニング部に入学。男子部員とともにトレーニングに励み六月の日本代表選考会（女子ジュニアの部：75kg以下）で優勝し、世界大会の出場権を獲得。九月初めにブルガリアで行われた第24回世界ジュニア選手権大会でデッドリフトは二位、トータルで三位の成績を収めた。その結果、本学一三〇周年の創立記念日に小出学長より特別表彰を受けた。ウェイトトレーニング部田畑部長によれば「西田さんはまだまだ伸び盛り。今後は世界一を目指してほしい」とコメント。今後の成長が楽しみである。

愛知学院一三〇周年記念 第54回愛学祭 テーマ「輪」

第54回となる愛知学院創立一三〇周年記念愛学祭が十一月三日から五日間、日進キャンパスで開催された。広大なキャンパスは華やかに装飾され、本部棟から6号館に下る坂（通称「学院坂」）の両側には、例年の名物となっている多くの出展がたち並んだ。

今年のテーマは「輪」。このテーマには、半世紀にわたって開催されてきた愛学祭を通じて生まれた繋がりが「伝統の「輪」をもつとけ、愛学祭参加者の「輪」が全て繋がり、一つの大きな「輪」となり、みんなで愛学祭を成功させたい」という願いが込められている。

主な学術企画として、ゼミ・文化系サークルの研究発表の「学問の散歩道」本学の三名の教員による「ミニセミナー」。スポーツ企画として「フットボー



ル大会「フットサル大会」／また、ステージ企画では、愛知警察署警察官による防犯講習など盛りだくさんの企画が行われた。そして、学院会館では、一三〇周年記念特別企画として元ノルディック複合日本代表「萩原次晴氏」を迎え、講演が行われた。会場には多くの来場者が詰めかけ、大いに盛り上がった。

今年のお笑いライブは「東京ダイナマイト」と「三拍子」。共にテレビなどで活躍中のお笑い芸人。最終日ということもあり、多くの聴衆が詰めかけ、会場は多くの笑いに包まれた。

サッカーグラウンドの リニューアル竣工式



サッカーグラウンドのリニューアルに伴う竣工式が去る九月二十日（水）15時45分よりサッカーグラウンドにおいて多数の教職員のみならず、多数の学生が参加し、竣工式が行われた。本学は一年を通して鮮やかな緑を保ち透水性が良く、風が強い日でも砂ぼこりをおこしにくい等のグラウンドに要求される様々なニーズに対応するためにサッカーグラウンドに人工芝を導入し、改修工事を実施しました。これにより、運動部等の激しい動きや日々の練習による過酷な使用状況にも常に良好なグラウンドコンディションを維持でき、プレー性や安全性も重視した構造となった。今後サッカー部のますますの活躍が期待される。

語学研修を 終えて

「カナダ」

商学科4年 山口登司

私は、この語学研修を終えたことによって、また一歩、人として成長できた気がします。正直初めは、「良い経験がでるといいな。」くらいの軽い気持ちで、結局英語の勉強もありせずに行ってしまった。当然授業にもあまりついていけず、ホストファミリーの方達の会話もほとんどわかりませんでした。しかしホストファミリーの親切な対応やアドバイス、ビクトリア大学の先生方、愛知学院大学語学研修メンバーの助けもあり、徐々に英語というものに、徐々に関心を感じるようになってきました。また、外に出れば必ず英語が役に立つので、日本にいるときよりも英語の勉強が苦ではありませんでした。

また、カナダの広大な自然や景色、カナダ人の温厚な人柄には驚きました。特に驚いたのは、バスに乗る際運転手と、「Good morning」とあいさつを交わしたり、降りる際に、「Thank you」とお礼を言ったりすることでした。こんなことは日本では全くないことなので、とても心が和みました。

この語学研修では皆、慣れない生活環境なので何かしらの苦しいことや辛いことがあったと思います。しかしそれ以上に、異文化に触れたことや新しい仲間に出会えたこと、様々な貴重な体験により、毎日いろいろなことが学べたと思います。この語学研修で学んだことを必ず活かして生きて行きたいと思っています。



最後に、今回の研修でお世話になった引率者の方達やカナダの方々、そして何よりこのカナダ語学研修に行くことを賛成してくれた家族、すべての人に感謝の気持ちで一杯です。

Thank you very much!!!

「イギリス」

現代社会法学科4年 中西令佳

私は語学研修に出発する前、英語一色の異国の地で暮らし、いろいろな不安と、毎日いろいろな不安と、今まで経験したことのない様々な経験をできるという期待に胸を膨らませていました。

授業では、チーム対抗のゲームや劇の発表や教室の外へ出てアンケートをとったりしました。いずれも参加型の授業で、聞くこと、話すこと、表現することに慣れるためのものでした。わからないことがあっても、先生がさらにゆとり、わかりやすい英語で説明してくれたので出発前に抱えていた不安はすぐになくなりました。



れ、一緒にドラマを観たり、宿題や発音の練習を手伝ってもらいました。授業やホストファミリーとの生活を通して、言葉は少なくても自分から進んで話してみることが重要だと感じました。また、私たちの行ったエディンバラという町は親しみやすい人たちがばかりで、とても温かい町だと感じました。

たった一ヶ月という短い期間でしたが、素敵な仲間に出会うことができ、また、毎日新鮮で貴重な体験が出来たことを本当にうれしく思っています。

オープンキャンパス 開催

今年もオープンキャンパス（4/23、7/29・30、10/1）が開催された。今回は例年の夏・秋だけではなく春にも新たに実施。毎回、異なったイベントを催し、昨



年を上回る約8,000名もの来場者を記録した。

日進キャンパスでは、有名人予備校講師による特別講義やトークセッション、クラブ&サークル見学や大幅に増えた模擬授業を大学生気分味わってもらうなど新たな試みを多く実施。楠元キャンパスでも薬・歯学部・短大部でそれぞれ施設見学や体験実習を行うなど、学部の理解を深めるイベントが実施された。

参加した高校生は、大学の施設等に驚きながら、一足早いキャンパスライフを満喫していた。

平成18年創立記念日クラブ表彰一覧 (平成17年10月1日～平成18年9月30日)

この1年間、対外活動・試合などで優秀な成績を収め、本学の名声を高めた文化系・体育系クラブ(団体・個人)に対する「平成18年創立記念日クラブ表彰」が10月14日に行われた。

対象期間は平成17年10月1日から平成18年9月30日までの1年間。団体は、日本代表になったクラブ、全日本選手権大会で8位入賞まで、地方大会で優勝または準優勝、中部・東海地区大会で優勝、県大会で優勝したクラブ。個人は団体と同ランクの成績を取った者のほか、最優秀選手賞やベストナイン等を受賞した者、その他、活動が特に顕著であったクラブや個人。

今回は団体28クラブ、848人（うち歯学部9クラブ、254人・薬学部1クラブ、10人）と個人128人、32クラブ（うち歯学部9クラブ、40人）が表彰を受けた。

▷ 一般表彰(団体の部)

クラブ名	大会名	成績
アイスホッケー部	愛知学生アイスホッケー競技会	優勝
〃	中部学生アイスホッケー選手権	優勝
〃	愛知学生アイスホッケー競技会	優勝
硬式庭球部	東海大学対抗テニスリーグ戦	優勝
ソフトテニス部	春季東海学生大学対抗リーグ戦	準優勝
硬式野球部	愛知大学野球 秋季リーグ戦	優勝
〃	明治神宮野球大会	準決勝進出：全国ベスト4
準硬式野球部	東海地区大学準硬式野球選手権大会	優勝
サッカー部	東海大学サッカー対抗戦	優勝
〃	愛知県サッカー選手権大会	優勝
馬術部	全日本学生賞典馬術競技大会	優勝(天皇杯・愛知代表選出)
〃	中部学生自馬競技大会	団体6位：全日本馬場馬術競技会
バレーボール部(男子)	東海大学男子バレーボール選手権大会	団体準優勝：三種目総合優勝
ボクシング部	中部学生ボクシング選手権大会	優勝
ウエイトトレーニング部	中部学生ボディビルディング選手権大会	総合優勝
日本拳法部	中部日本学生拳法新人戦大会	優勝
〃	中部学生拳法選手権大会	優勝
ヨット部	春季中部学生ヨット選手権大会	優勝
洋弓部	東海学生アーチェリーインドア選手権大会	団体1位
射撃部	中部学生ライフル射撃選手権大会	優勝：10mS60
フライングディスク部	全日本ガッツ選手権大会	優勝：男子
バレーボール部(女子)	東海大学バレーボールリーグ戦(春季)	優勝
〃	東海大学バレーボール選手権大会	優勝
空手道部	秋季東海学生空手道選手権大会	優勝：女子組手
〃	全国空手道選手権大会	男子第3位：団体組手、第4位：団体形
〃	〃	女子8位入賞：団体組手
〃	春季東海地区大学空手道選手権大会	優女とも優勝：団体組手
スイングオールスターズ	第3回東海ビッグバンドコンテスト タチャCUP	最優秀賞、最優秀アンガールパート賞

▷ 一般表彰(個人の部)

[illegible][illegible]

▷ 歯学部(団体の部)

クラブ名	大会名	成績
スキー部	第38回全日本歯科学学生総合体育大会	総女総合優勝
少林寺拳法部	〃	総女総合優勝
ヨット部	〃	団体演武の部優勝
ゴルフ部	〃	総合優勝
〃	〃	準優勝
〃	〃	男子団体優勝
〃	〃	女子団体3位
空手道部	〃	3位
サッカー部	〃	準優勝
ボウリング部	〃	準優勝
〃	〃	団体戦Aチーム2位
〃	〃	ダブルス戦Qチーム2位
ソフトテニス部	〃	総合準優勝
〃	〃	男子団体戦優勝
硬式野球部	春期東海医歯薬リーグ(薬学部野球部との合同チーム)	優勝

▷ 薬学部(団体の部)

クラブ名	大会名	成績
薬学野球部	春期東海医歯薬リーグ(歯学部野球部との合同チーム)	優勝

▷ 歯学部(個人の部

学年	氏 名	クラブ名	大 会 名	成 績
6	安藤 清文	ス キ ー 部	第22回冬季歯科大学対抗戦	男子回転準優勝 男子スーパー大回転優勝 男子スーパー大回転準優勝
6	三原 理智		第38回全日本歯科学生総合体育大会	男子回転準優勝 男子回転 3 位 男子大回転準優勝 男子スーパー大回転3位
5	田中美奈子		第22回冬季歯科大学対抗戦	女子回転優勝 女子スーパー大回転準優勝 女子大回転3位
5	河田 翔平	ヨ ッ ト 部		個人ベア優勝 個人ベア優勝
5	安川 恒平			個人ベア 3 位 個人ベア 3 位
4	福田 慎太郎			個人ベア 3 位 個人ベア 3 位
4	福田 泰久			新入会の部優勝 新入会の部優勝
1	八谷 文貴	少 林 寺 拳 法 部		新入会の部準優勝 新入会の部準優勝
1	中島 真実			新入会の部準優勝 新入会の部準優勝
1	蒔田 綾香			新入会の部 3 位 新入会の部 3 位
1	芳金 希子			新入会の部 3 位 新入会の部 3 位
1	江端 由衣			新入会の部 3 位 新入会の部 3 位
2	川島 淳			新入会の部 3 位 新入会の部 3 位
2	早川 健一郎			新入会の部 3 位 新入会の部 3 位
2	渋谷 健一			新入会の部 3 位 新入会の部 3 位
2	安藤 正彦			新入会の部 3 位 新入会の部 3 位
2	杉村 拓磨			新入会の部 3 位 新入会の部 3 位
1	長谷 奈央			新入会の部 3 位 新入会の部 3 位
2	鶴田 央ゆみ			新入会の部 3 位 新入会の部 3 位
3	山口 綾子			新入会の部 3 位 新入会の部 3 位
3	余語 美帆			新入会の部 3 位 新入会の部 3 位
3	鬼頭 広章			新入会の部 3 位 新入会の部 3 位
2	滝 大策			新入会の部 3 位 新入会の部 3 位
4	松井 康賢			新入会の部 3 位 新入会の部 3 位
4	横地 孝則			新入会の部 3 位 新入会の部 3 位
4	杉本 涉			新入会の部 3 位 新入会の部 3 位
6	永井 大督			新入会の部 3 位 新入会の部 3 位
4	吉野 仙峰			新入会の部 3 位 新入会の部 3 位
4	横山 貴至			新入会の部 3 位 新入会の部 3 位
2	田中 佑典			新入会の部 3 位 新入会の部 3 位
4	土井 健太郎	ゴ ル フ 部		新入会の部 3 位 新入会の部 3 位
5	久田 彩美	水 泳 部		新入会の部 3 位 新入会の部 3 位
1	三ツ口 武志			新入会の部 3 位 新入会の部 3 位
5	佐藤 輔二	ボ ウ リ ン グ 部		新入会の部 3 位 新入会の部 3 位
2	野田 康二			新入会の部 3 位 新入会の部 3 位
3	上栗 有二郎	剣 道 部		新入会の部 3 位 新入会の部 3 位
4	吉原 健太			新入会の部 3 位 新入会の部 3 位
1	菅川 将司	ア ー チ エ リ ー 部		新入会の部 3 位 新入会の部 3 位
4	佐野 恭子	日 本 拳 法 部		新入会の部 3 位 新入会の部 3 位
4	寺本 恵子			新入会の部 3 位 新入会の部 3 位